

獨協大学長殿

学外研修報告書

私は、学外研修員として出張しておりましたが、このたび研修を終えて帰任いたしました。つきましては、次のとおりご報告申し上げます。

報告日	2026年5月18日	所属	国際教養学部
職名	教授	氏名	浦部浩之
研修種別	1. 海外 2. 国内	研修種類	1. 長期 2. 短期
研修期間	2025年3月20日 ～ 2026年3月19日		
学外における主な研修機関および訪問先 立命館大学 OIC 総合研究機構			
出張目的または研究題目 研究題目：国際社会における民主主義支援の理念と制度の形成過程に関する研究			
資格	1. 2024年度獨協大学学外研修員（派遣） 2. 本学承認の学外研修員（自費等） 3. その他（ ）		
大学から支給された費用（要清算書類）・補助金額			50万円
研修内容（1. 研修経過の詳細 2. 研究成果発表の予定 3. その他 を記入）			
1. 研修経過の詳細 立命館大学 OIC 総合研究機構（大阪府茨木市）で1年間の研修を実施した。同機構とは「客員協力研究員規程」に基づく客員研究員（無給）としての契約書（1年間）、および秘密保持誓約書を取り交わし、標記の研究課題に関する研究に従事した。居住地は自宅（東京都）を基本とし、必要に応じて同大学、およびその他の国内出張先を訪問した。研究費（科研費や本学の個人研究費等）の使用のない出張滞在（国内）は、次の期間である。			

提出先：所属学部長→学長→人事課

裏面につづく

2025 年 3 月 24～27 日、4 月 20～24 日、8 月 8～9 日、10 月 20～23 日、11 月 30 日～12 月 5 日、2026 年 1 月 10～11 日、1 月 19～22 日。計 20 泊 27 日。

この費用の一部（宿泊費の一部、および研修先への 1 回分の往復交通費）について、規程に基づき、本研修費を充当した。

また、標記課題について調査するため、4 月 5 日から 4 月 17 日までメキシコのグアダハラ（訪問先はグアダハラ大学等）、およびエクアドルのキト（訪問先はラテンアメリカ社会科学研究所 [FLACSO]、日本大使館等を訪問した。なお、同訪問の際は、日当宿泊費については本学の個研費から支出し、交通費については本研修費から支出した（2025 年 4 月 3 日付出張申請、依頼番号 600117 参照）。同出張の際には 4 月 13 日実施のエクアドル大統領選挙の選挙監視員としての活動（無給）にも同国駐在外交団監視団に帯同するかたちで従事し、標記課題についての学びを深めた。

2. 研究成果発表の予定

研修の成果については、出版物としては、まずは所属学部の紀要（『マテシス・ユニヴェルサリス』2026 年 9 月公刊予定）に発表することを予定している。また、日本政治学会の 2026 年度研究大会（2026 年 10 月）で、「民主主義を支える選挙監視と蝕む選挙監視」と題する研究報告を行う予定である。

3. その他

貴重な研修の機会を頂いたことについて、立命館大学、および本学の関係者の皆様に深く御礼申し上げたい。